



平成19年2月1日発行

第5号

# 議会だより

■発行 長野県小県郡長和町議会  
■編集 議会だより編集委員会

今年もよろしく  
お願いします。

写真提供：株式会社長和町振興公社

プランシュたかやまスキーリゾート ホームページ [<http://www.blanche-ski.com>] で  
毎日更新されているプランシュレポートに掲載されている写真を使用させていただきました。

## 2月号の内容

- 12月定例会
  - 町長提案理由 . . . . . P2
  - 一般質問 . . . . . P3~P6
  - 条例改正 . . . . . P6
  - 補正予算 . . . . . P7
  - その他 . . . . . P8~P9
  - 陳情・意見書 . . . . . P10
- 第3回臨時会 . . . . . P9
- 議員研修会 . . . . . P11

## 12月定例会

# 町長提案理由の説明

長和町議会12月定例会が平成18年12月5日（火）から13日（水）までの9日間の会期で開かれ、条例改正案、平成18年度補正予算案などについて審議が行われました。

### ●平成18年を振り返って

師走に入り、何かと気忙しい時節を迎えました。

さて、平成18年を振り返つて見ますと、社会福祉協議会や商工会を始めとした各種団体が長和町の団体としての発足、設立が数多くありました。これらの団体の発足、設立が

長和町の融和に多大な貢献をしていることはいうまでもないことがあります。

6月には、明治大学と社会連携事業の推進に関する協定を締結いたしました。これにより、黒耀石原産地をはじめとする地域文化財の調査・研究を通しての学術交流が一層深められるとともに、特色ある社会連携事業の推進による地域活性化が図られることとなりました。7月には「平成18年7月豪雨災害」が発生いたしました。

稀に見る未曾有の大災害となつた本災害につきましては、町内各所で多くの被害を被りましたが、本年4月1日に締結された町と町建設振興協議会との「災害時における応急対策業務に関する協

定」により、町建設振興協議会の皆さんにより、迅速な応急措置を実施していただきました。現在、災害復旧に向け、

鋭意、復旧事業を進めているところであります。

また、10月8日には、第1回の町民運動会が秋晴れの晴天の下、湯遊パーク総合グラウンドで開催されました。約1400人の住民の皆さんに参加していただき、大変盛大に開催することができました。

11月4日、5日には長和町としては第2回目となる総合文化祭が開催されました。展示は長門町民体育館で、また、芸能発表会は和田コミュニティセンターで行いました。芸能発表会には25にも上る個々人・団体の方々が参加され、様々な芸能が披露されました。

稀に見る未曾有の大災害となつた本災害につきましては、町内各所で多くの被害を被りましたが、本年4月1日に締結された町と町建設振興協議会との「災害時における応急対策業務に関する協

問い合わせに対しても、各担当者や関係者につなぎ、直接または間接的に回答を届けています。

ここで、7月に委員を委嘱し活動を始めた公的ネットワーク「美しの郷」の状況について説明させていただきます。

公的ネットワーク「美しの郷」のテーマである「融和・元気」の出るまちづくり」をキーワードに、住民の声を聞くといふことから出発しております。

そもそも、私の公約であつた公的ネットワークは、どこにも前例のない試みであるところから、説明が難しいものであります。そのため、その活動に対しては、先頃行われた町政懇談会でも「行動が分からぬ、目的が分からぬ」との声が聞かれました。

これまで、公的ネットワー

クでは、住民の立場で考え、時間をかけて住民の声を聞き、まちづくりのテーマに結び付けることを心掛けることで、公約に掲げられた理念の具現化の方法を模索してきました。まだその方法は様々な方向へ広がる可能性を持ち、どのような方法が適当であるかは、現時点では、確証をもつ

段階には至っておりません。

他にも、町の皆さんから寄せられる様々な情報、意見、

（提案理由の説明から抜粋）



今後、私が指示した「医療福祉」「観光」「特産品」の分野で、どんな有効なネットワークを築いていくことができるのか活動を行ってもらうとともに、「融和・元気」の出るまちづくり」に向け、多くの可能性をより多くの人が見出していく様子が見えてきました。

このように、行政・民間・企業・委員会・団体・グループ・個人・町の内外などの様々な枠を越えて、その接点を作り、時にはその相互間を繋ぐという架け橋的役割を

# 12月定例会

## 一般質問

発言順 氏名

質問項目

- |         |  |
|---------|--|
| 1 古川 直孝 | ・改正介護保険について<br>・いじめについて  |
| 2 栗原 晓史 | ・介護保険法改定の長和町への影響について<br>・合併後の町づくりの到達点と課題について<br>・町民運動会について           |
| 3 竹内 英和 | ・長和町の目指す方向は<br>・和田地域の下水道つなぎ込み事業について<br>・観光事業について<br>・株式会社長和町振興公社について |
| 4 原田 恵召 | ・防災体制について<br>・町政懇談会の結果について<br>・計画的な行政運営について                          |
| 5 河野 啓治 | ・子ども達のすこやかな成長のために<br>・一般廃棄物処分場の作業環境の改善について<br>・大黒屋の入口の問題について         |
| 6 長井 武雄 | ・長和町地域いきいき券について<br>・行政のあり方について<br>・水道の統合について                         |

12月12日（火）に一般質問が行われ、6人の議員から質問が行われました。質問事項は左の表のとおりですが、ここでは、その一部をお知らせします。

# 一般質問



**問** いじめがあると分かった時点で教員会、学校は話し合いを持つたのか。また、町におけるいじめの実態をどのようにとらえているのか。日常的なアンケート調査を行っているのか。

**答**

羽田 町長

長和町、上田市武石地域の老人ホーム入所待機者は97名いるが、特養待機者の受け皿として利用するため、老人保健施設の増床計画はあるか。いじめがあると分かった時点で教員会、学校は話し合いを持つたのか。また、町におけるいじめの実態をどのようにとらえているのか。日常的なアンケート調査を行っているのか。

**答**

羽田 町長・小宮山保健福祉課長

改正介護保険について、厚生労働省がつくった25項目のチェックリストを使って、特定高齢者の把握はどこまで進んでいるのか。その後、介護予防に参加している人はどのくらいいるのか。



古川 直孝  
議員



老人保健施設いこい

**問** 公開授業風景のゆいねつとの放送については、学校と相談しながら考えていく。また、教育委員会へ直接相談するということが多いので、相談窓口を広くしていきたいと考えている。

**答**

中村 教育長

保護者、地域住民への情報発信と要望への対応について、公開授業風景をゆいねつとで発信できないか。また、メール、ファックスなどで住民が直接教育委員会に意見を伝えることはできないか。

**答**

中村 教育長

いじめについて相談を受けた場合には、教育委員会・学校現場・保護者で話し合いを行っている。いじめの実態については、学校現場、担任の先生などと注意深く観察し、単発的ないたずらなどの事象についても深刻に受け止め指導を行っている。日常的なアンケート調査は行っていないが、全国的な緊急アンケート調査はそれぞれの学校現場で実施した。



栗原 晓史  
議員

**問** 介護保険法の改定が町内でどのような影響を与えていたのか。また、その対策はどうするのか。

**答** 羽田町長

今回の改定により、軽度の皆さん、ま

たは所得の低い皆さんに対する負担が多くなったと感じている。福祉用具サー

ビス事業者に利用料に多少上乗せした額

で利用できるよう配慮していただいたり

しているので、町としての補助は考えて

いない。この4月からの介護保険料の値

上げについて、住民の経済的負担の軽減

と、急激な介護保険料の値上げを抑える

ために、長和町は本来4400円になる

のだが4100円に抑えた。

**問** まちづくりの基本的な考え方につ

いて、次の合併の前段階としてのまちづくりなのか、他の地域に負けない力をつけるためのまちづくりなのか。

**答** 羽田町長

次の合併を考えたまちづくりは全然

考えていない。長和町が未来永劫存続していくという強い決意を持ってまちづくりを進めている。

**問** 町民の皆さんがこの町を誇りに思えるように、一体感を持つ暮らしていることが根源的な力とな



町民運動会

**答** 羽田町長

ると思うがどうか。

公的ネットワークにより、まちづくりの一環として、町民の融和と協働を推進してもらっていると考えている。また、

町民憲章、町歌、町花、町鳥、町木を合併3周年に町民の皆さんに披露できるよう、事務事業を推進していきたい。

**問** 町民運動会について、今年度の取組みの総括と来年度へ向けて

**答** 羽田町長

初めての町民運動会であったが、約1400人の方に参加していただき、大成功であったと思っている。ただ、私自身、町民の皆さんに「運動会で一つになりましょう。」という気持ちの表し方が足りなかつた部分もあると反省はしている。今後も町が主催し、この大事業を続けていきたいと思っている。

**問** 和田宿は以前から整備・保存が進んでいるが、長久保宿について



長久保宿



竹内 英和  
議員

**問** 長和町の目指す方向について、農業を基盤としたものか、商工業を中心としたものか、それとも観光のまちづくりか。

**答** 羽田町長

合併協議を基本として、福祉、医療、教育、産業振興、観光などの充実を目指すまちづくりを進めていく。観光か農業か商工業かということではなく、総合的な施策が必要であると考えている。

**問** 併せて行う道路改良工事について、道幅6・5mの道路改良を行う必要性はあるのか。

**答** 羽田町長

下水道の接続工事は、現在の農道を利用し埋設していくルートを考えているが、工事内容によつては、道路線形の改良、老朽化した水路の改修など付帯的な工事は必ず必要となつてくると考えている。これらの付帯工事をを考え合わせた中で道路改良工事を考えてきた。財源としてはまちづくり交付金を活用する。今後、関係する地区の皆さんと話し合いを行なながら進めていきたい。

**問** 長和町振興公社の株を民間に売却できないか。また、振興公社の情報公開についてどのように考えているか。

**答** 羽田町長

振興公社が公共施設の維持管理を主体に設立した会社であるため、民間や個人への株の売却は考えていない。情報公開については、振興公社の決算報告を広報及び議会に報告している。また、経営状況については、2ヶ月に1回開催される役員会で報告している。

てはてこ入れが行われていない。これからどのように取り組んでいくのか。

**答** 羽田町長

最近は中山道を訪れる方が大変多いので、町としてもそれなりの対応を行つていかなければならぬと思っている。

長久保地区の皆さんと相談しながら、当時の雰囲気を感じられるような整備を行つていきたいと考えている。

# 12月定例会

一般質問

答

羽田町長

町政懇談会を開催して良かった点は、住民の行政に対する考え方を肌で感じることができ、今後の行政運営にこれを生じて、今後どのようにしていくのか。

問

町政懇談会について、良かった点、反省する点は何か。また、今後どのようにしていくのか。



中村橋の災害査定

答

羽田町長

7月豪雨災害を受け、町としては防災体制の洗い直しのほか、指揮連絡系統の確認、県と町との連絡網の確認訓練、避難施設などの再確認、消防団の訓練、防災用品の確保などできる限りの対応、準備を進めている。住民の皆さんに対しても周知方法は、テレビや放送によるお知らせのほか、県、町、消防署、消防団が連携しながら、広報車で巡回できるよう

な体制を整えていきたい。災害対策については、人家に関わる場所を優先的に緊急度を勘案しながら、災害復旧対策と予防対策を進めていきたい。

7月豪雨災害について、どのように災害を反省し、どのような防災体制ができたのか。また、住民への周知方法はどうに行っていくのか。災害対策として、予防のための修繕工事をどのように考えているのか。

問

7月豪雨災害について、どのように災害を反省し、どのような防災体制ができたのか。また、住民への周知方法はどうに行っていくのか。災害対策として、予防のための修繕工事をどのように考えているのか。



原田 恵召  
議長

かすことができるという点が挙げられる。反省点としては、参加率が約30%と少なかつたので、参加率を向上させる方策を考えて行かなければならないと思う。今後は年に1回程度、三役、教育長、課長がそれぞれの地区に出向いて懇談会を行うという形も考えていただきたい。

町の財政状況の健全化について、経常経費の削減をどのように考えているか。

答

羽田町長

経常経費の削減ができる自治体が財政の健全化、安定化をもたらすと言つても過言ではない。人件費については、職員のみならず、議員数、委員数などの削減を積極的に推進していく必要性に迫られていると考えている。物件費などの経常経費の削減も積極的に努めさせていただきたい。平成19年度予算編成においては、消耗品などの一括集中管理方式を導入し、経費の縮減を強化していく。

町の財政状況の健全化について、経常経費の削減をどのように考えているか。

問

いじめなど様々な問題は、教育基本法の改正が行われれば解決されると考えているか。また、いじめの実態調査はどのように行われたか。

課長がそれぞれの地区に出向いて懇談会を行なうという形も考えていきたい。

問

いじめなど様々な問題は、教育基本法の改正が行われれば解決されると考えているか。また、いじめの実態調査はどのように行われたか。

課長がそれぞれの地区に出向いて懇談会を行なうという形も考えていきたい。

課長がそれぞの地区に出向いて懇談会を行なうという形も考えていきたい。

問

一般廃棄物処分場の事務所兼休憩所の新設、トイレの改善などについてどう考えるか。

町民が分別する場所に屋根を設置す

れ改善していただきたい。

問

大黒屋の入口の整備が、なぜ、

早く解決できないのか。事業の

計画と実施の段階で、地主や関係者の

了解を得ることが、行政側に不足して

いたのではないか。

問

大黒屋の入口の整備が、なぜ、

早く解決できないのか。事業の

計画と実施の段階で、地主や関係者の

了解を得ることが、行政側に不足して

いたのではないか。

問

大黒屋の入口の整備が、なぜ、

早く解決できないのか。事業の

計画と実施の段階で、地主や関係者の



一般廃棄物処分場

答

小池教育委員長

国民の共通理解のもとに国民全體が教育改革を進め、未来を切り開く教育を実現していくために、教育基本法を時代にふさわしいものに改めていくことが必要であると考えている。今回行ったアンケート調査は依田窪南部中学校、和田中学校では全生徒を対象に行なった。長門小学校では人権協調月間の取組みの一つとして実施した。和田小学校ではアンケート調査は行っていないが、先生と児童との面談で実態の把握に努めた。

全国一斉学力テストについて、町教育委員会としては特に検討はしていないが、調査結果の公表はどうするかという点について、検討していかなければならないと考えている。

答

羽田町長

大黒屋の問題については、当時、地主の方が生きていたので、話し合いが進んでいたが、地主の方が亡くなつてから話がこじれてきた。そのような状況の中で、当時の和田村に寄付していただいたという経緯がある。

いずれにしても、日々早急に解決したいと思っていている。

答

羽田町長

大黒屋の問題については、当時、地主の方が生きていたので、話し合いが進んでいたが、地主の方が亡くなつてから話がこじれてきた。そのような状況の中で、当時の和田村に寄付していただいたとい

う経緯がある。

いずれにしても、日々早急に解決したいと思っていている。

問

一般廃棄物処分場の事務所兼休憩所の新設、トイレの改善などについてどう考えるか。

町民が分別する場所に屋根を設置す

ることについてはどうか。

問 地域いきいき券について、売り上げが少ない状況の中で、町の協力、特に町からの補助ができるか。



長井 武雄  
議員

答 羽田町長

地域いきいき券については、町内の商店や企業の振興に大変有効であると考えている。ただ、この制度に加入している商店などが少ないとと思う。町でも補助したらどうかということであるが、加盟店を増やす努力、また、地域いきいき券のPRをしていただきながら多くの町民の皆さんを利用できる環境づくりをお願いしたい。そのような中で町の補助については考えていくたい。

問 地方交付税の算定基準に人口規模が大きなウェートを占めるような変更が議論されており、町の人口も減少している中、町外に居住している職員が多いがどう考えるか。

答 羽田町長

職員にもいろいろな事情があつて、町外に居住していると思う。町の職員は町内に居住してもらうことを原則として考えているが、いろいろな事情があつてそれができない職員もいる。職員採用についても、原則としては、住民票が町にあるか帰省地が長和町であるということである



地域いきいき券

行っている。

問 上下水道の統合について、どのような計画になつておられるのか。

答 羽田町長

下水道統合事業については、地域再生法の認定を受け、まちづくり交付金事業により事業着手の運びとなつた。直接関わりのある青原地区、長久保地区の皆さんには説明会を行つたが、町全体への説明は十分ではないと思つてはいる。このことについては、極力、理解をしていただこうよう努力していきたい。

水道については、下水道工事と合わせて水道の工事を行うことにより、経費の節約になるうえ、まちづくり交付金や合併特例債も利用できるということで、現在計画しているところである。このことについては、事細かに町民の皆さんに理解していただきながら、事業を進めていきたいと考えている。

■長和町福祉企業センター条例の一部を改正する条例

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

障害者自立支援法が平成18年10月1日から全面施行されたことにより、福祉企業センターの就労利用者の事務費の負担率を「100分の3以内」から「100分の10以内」に改正するものであります。条例上は負担率を改正しますが、実際は事務費の減額または免除規定を適用するため、事務費については従前と変更はありません。

■長和町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

長和町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

■長和町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

長和町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

## ●条例関係

4件の条例改正案について審議され、全議案可決されました。



福祉企業センター

現状のまま推移すると奨学金貸付の原資となつてゐる奨学基金の不足を生じてしまつたため、条例中の奨学基金積立の額を「5000万円」から「8000万円」に増額する改正及び奨学基金の財源が一般会計からの繰入れが主なものであることから、該当条文を変更する改正です。

# 12月定例会

## 補正予算

# 補正予算

一般会計及び特別会計の補正予算案について審議され、全議案可決されました。

**■一般会計補正予算(第4号)**

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

町の新たな交通体系に対応するため、合併特例交付金事業として県の全額補助により、巡回バスに使用するマイクロバス2台を購入するための経費が計上されました。

また、ごみの減量化、資源化を普及するため、長門地区ごみ処分場の空き缶プレス機が設置してあつた小屋を改修し、リサイクル展示場に転換とリサイクルを促すための予算が計上されました。

このほか、現在の老人保健医療制度が平成20年に新たなるため設置される長野県後期高齢者医療広域連合の設立に伴う設立準備委員会への負担金が計上されました。

また、高校通学費補助金、扶助費などの増額、平成19年4月に予定されている長野県議会議員一般選挙に要する経費に関わるもの、住民の方からいただいた寄付を、奨学基

金へ積立を行うもの、その他緊急を要する事業に関するものが支出の主な内容です。支出に伴う財源につきましては、約90%が県支出金によるものです。

**■国民健康保険（事業勘定）補正予算(第2号)**

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

保健指導事業費にかかる経費の増額が主なもので、一般会計からの繰入金が財源となっています。

**■老人保健特別会計補正予算(第2号)**

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

高額医療費の増額に伴う補正で、一般会計からの繰入金が財源となっています。

**■水道特別会計補正予算(第2号)**

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

高額医療費の増額による補正で、一般会計からの繰入金が財源となっています。

**■訪問看護ステーション特別会計補正予算(第2号)**

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

職員共済費の増額による補正で、一般会計からの繰入金が財源となっています。

**■ケーブルテレビ施設特別会計補正予算(第2号)**

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

メーターアクセサリ交換工事費などの現地作業消耗品の増額、前林配水地のフェンス老朽化に伴う修繕工事などが主なものです。

金へ積立を行うもの、その他緊急を要する事業に関するものが支出の主な内容です。支出に伴う財源につきましては、約90%が県支出金によるものです。

**■特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)**

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

過年度還付金及び公共マスク新設に要する経費の増額が主なもので、財産区繰入金などが財源となっています。

**■簡易排水施設特別会計補正予算(第2号)**

【審議結果】  
全員賛成・原案可決

浄化槽単独補助、浄化槽整備事業の増額による補正で、国・県からの浄化槽整備事業補助金及び一般会計繰入金が財源となっています。

12月補正予算の主な内容		
会計名	補正額	増額となったものの主な内容
一般会計	4059万円	巡回バス購入費(2台) 3254万円 県議会議員選挙費 290万円 一般廃棄物処分場改修工事 456万円 ストックヤード購入費 472万円 長野県後期高齢者医療広域連合 設立準備委員会負担金 24万円 やすらぎの湯源泉ポンプ入替工事 153万円 高等学校通学費補助増額 305万円 奨学基金繰出金 199万円
特別会計	国民健康保険	保健指導事業費増額 27万円
	老人保健	高額医療費増額 176万円
	水道	フェンス修繕工事など 240万円
	特定環境保全公共下水道	下水道排水施設補助 40万円
	簡易排水施設	浄化槽整備事業補助増額 74万円
	訪問看護ステーション	職員共済費増額 10万円
	ケーブルテレビ施設	ゆいねっと電話帳印刷 52万円 ケーブル支障移転工事 273万円
	介護保険	地域密着型介護サービス給付費増額 115万円
和田財産区特別会計	和田財産区	重機借上料 75万円 一般会計繰出金(分館活動助成) 29万円
	和田水沢地区の間伐材売却	収入、重機の借上料及び和田地区の分館活動を助成するための一般会計への繰出金が計上されました。

## ●その他決まつたこと

### 第1次長和町長期総合計画

#### (基本構想)について

##### 【審議結果／全員賛成・原案可決】

平成19年度から平成28年度までの10年間のまちづくりの方向とそのための基本的な考え方を示した長和町長期総合計画の基本構想について審議が行われました。

なお、長和町長期総合計画（基本構想）については、12月5日に行われた議会全員協議会の議題としても取り上げられ、審議が行われています。

今回、基本構想が議会で可決されましたので、この基本構想に基づいた基本計画及び実施計画が策定されていくこととなります。

※**基本計画**：基本構想の10年間を前期と後期とに分け、基本構想に定めた目標を達成するための施策の方向について、行政の各分野ごとに体系を定めたものです。

※**実施計画**：基本計画で定めた施策の方向に従い、具体的な事業の展開を定めたもので、毎年度の予算編成の指針となるものです。実施計画は変動が激しい社会経済状況への対応と予算的裏付けが必要なことから、3ヶ年計画とし、毎年度、見直しを行っていきます。

### 第1次長和町長期総合計画（基本構想）

#### 基本理念

自然と共に存の誇れる  
まちづくり

森のささやき 清らかな流れ

悠久の歴史

未来へ耀く美しの郷

元気に知恵と工夫で  
活力に満ちた  
まちづくり

人と人、心を活かした  
明るいまちづくり

## 長野県後期高齢者医療

### 広域連合の設置について

#### 【審議結果／全員賛成・原案可決】

平成18年6月に「高齢者の医療の確保に関する法律」が公布されたことにより、平成20年4月1日から75歳以上の後期高齢者などを被保険者とした独立した医療制度である後期高齢者医療が開始されることになりました。

#### 長野県後期高齢者医療広域連合設置についての付帯決議

長野県後期高齢者医療広域連合は、平成20年4月から新たな医療制度として、後期高齢者医療を実施するために設置されるが、県内全域を区域としていることから、住民の声が届きにくい制度である。

また、新たな医療制度であることを踏まえ、平成19年4月からの準備期間も含め、市町村議会への報告義務、後期高齢者の意思反映の仕組み、情報公開の徹底などに努めることを要望する。

以上、決議する。

平成18年12月13日

長野県長和町議会

このため、平成18年度末までに都道府県の区域ごとに区域内の全市町村が加入する広域連合を設置することとなつて、設置に必要な広域連合の規約について審議が行われました。また、長野県後期高齢者医療広域連合が県を単位として設置されることから、本議案に関連して、議員から「長野県後期高齢者医療広域連合設置についての付帯決議」が提出され、全員賛成により可決しました。



## 第3回臨時会開催される

～教育委員の任命に同意～

平成18年11月20日(月)、長和町議会第3回臨時会が長門町議場で行われました。本臨時会で審議された議案は次のとおりです。

■教育委員会の委員の任命について  
【審議結果／全員賛成・同意】

平成18年12月2日で任期満了となつた小池進さんが再任されました。また、小池さんは教育委員会において、教育委員長に再任されています。小池さんは平成13年から旧長門町の教育委員、平成16年から平成17年までは旧長門町教育委員長を、更に長和町發足後は長和町の教育委員長として、町の教育行政に数々の貢献をされています。



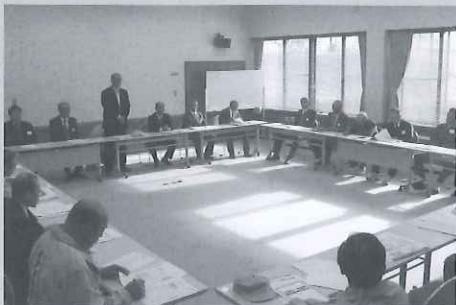
小池 進 教育委員長

## ● 陳情関係

陳情名	審議結果	提出者
療養病床の廃止・削減と 患者負担増の中止等を求める陳情	全員賛成・採択	長野市鶴賀629-1 長野県社会保障推進協議会 代表 小林 幹彦 さん
安全・安心の医療と 看護の実現を求める陳情	全員賛成・採択	長野市高田276-8 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 一信 さん
森林・林業・木材関連政策と国有林野 事業の健全化に対する意見書送付を求 める陳情	全員賛成・採択	佐久市臼田1822 中部地方森林労連・東進地区森林労連 執行委員長 井出政五郎 さん
トンネルじん肺根絶の抜本的な 対策を求める意見書の提出について	全員賛成・採択	松本市中条1-14 全国トンネルじん肺根絶長野原告団 団長 黒田 敬一 さん

## ● 意見書関係

意見書名	審議結果	提出先
療養病床の廃止・削減と 患者負担増の中止等を求める意見書	全員賛成・原案可決	内閣総理大臣、厚生労働大臣、 衆議院議長、参議院議長
安全・安心の医療と 看護の実現を求める意見書	全員賛成・原案可決	内閣総理大臣、厚生労働大臣
森林・林業・木材関連政策と 国有林野事業の健全化を求める意見書	全員賛成・原案可決	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、 経済産業大臣、農林水産大臣、 厚生労働大臣、国土交通大臣、 環境大臣、林野庁長官、衆議院議長、 参議院議長
トンネルじん肺根絶の 抜本的な対策を求める意見書	全員賛成・原案可決	内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、 経済産業大臣、農林水産大臣、 厚生労働大臣、国土交通大臣、 内閣官房長官、防衛庁長官、 衆議院議長、参議院議長



## 立科町議会議員との研修会

平成18年11月14日（火）、長和町議会議員と立科町議会議員との研修会が、和田コミュニティセンターで行われました。この研修会は、旧長門町議会が行っていたもので、長和町になってからは初めての研修会となります。

研修会では、両町の議会の活動状況を報告し、それぞれの議会の活動内容について、活発な意見交換が行われ、これからの議会活動に有意義な研修を行うことができました。

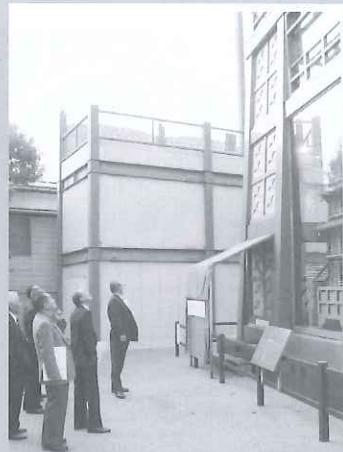
また、スポーツ交流として和田湯遊パークマレットゴルフ場でマレットゴルフを行いました。時々、小雨が降る肌寒い日となっていましたが、それぞれの議員はお互いに交流を深め合いました。



## 下諏訪町議会議員との研修会

平成18年11月17日（金）、長和町議会の総務経済常任委員会委員と下諏訪町議会の経済建設常任委員会委員との研修会が下諏訪町で行われました。この研修会は、旧和田村議会が行っていたもので、立科町議会との

研修会と同様に、長和町になってからは初めての研修会となります。



研修会では、下諏訪町が指定管理者制度を導入し、民間企業に管理運営を委託している「諏訪湖時の科学館 儀象堂」と「諏訪湖オルゴール博物館 奏鳴館」を視察しました。指定管理者制度の導入による施設運営の現状などを研修することができ、有意義な研修となりました。

平成19年1月11日（木）には上田創造館において、上田市域町村議会議員研修会が開催されました。この研修会には、長和町・上田市、東御市、青木村・坂城町の議会議員が集まり、研修を行いました。

元全国都道府県議会議長会調査部長の野村稔さんから「開かれた議会運営について」と題した講演が行われました。これらの議会運営どのように行っていけば良いのかということについて、その方向性を見出す一助となつた研修会となりました。





上宿第1場 白虎隊士、自刃を決意する場



下町・藤見町第4場 富士の巻き狩りの場



上中町第2場 かぐや姫 月の都に向かう場



桜町第5場 川中島の合戦“八幡原両将一騎打ち”的場



中町第3場 小野道風 柳の枝に飛びつく蛙を見て悟る場

豈受大神宮の例祭「おたや祭」が今年も1月14日（日）・15日（月）にかけて行われました。山車保存協賛会の皆さんによる「山車」も奉納され、多くの皆さんが、そのすばらしい出来映えに見入っていました。

新年、明けましておめでとうございます。昨年中は、皆様方には議会に対するご意見やご感想をお寄せください。議会だよりに関するご意見や感想をお寄せください。

新年、明けましておめでとうござい

ます。昨年中は、皆様方には議会に対し、ひとかたならぬご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

子様のご出産で皇室に約40年ぶりの親王「悠仁様」がご誕生し、日本中が新たな命の誕生を祝福した年となりました。また、一方でいじめによる子供の自殺や子どもへの虐待などが社会問題として取り上げられ、飲酒運転による事故の多発、北朝鮮での核実験、国内の医師不足などの命の重みの大切さを痛感する年でもありました。

すっかり正月の風物詩となつた箱根駅伝。茶の間のこたつでテレビ観戦された方も少なくないだろうと思います。母校の誇りをかけ、一本のタスキを手渡して必死につないでいく青年の姿は、見ていてもすがすがしく感じられます。感動のドラマが例年繰り広げられます。議会だよりとして、今日より明日へと希望がもてる町、元気ができる町づくりに責任を持つて一人ひとりが輝く社会、地域の実現のために行政にしっかりとタスキを手渡します。

## おたや祭り

### 編集後記

#### 編集委員会

委員長 柳澤 貞司  
委 員 伊藤 博一  
 清水 常美  
 河野 啓治  
 古川 直孝  
 原田 恵呂

（古川直孝  
記）